

障害理解学習のご案内

未来を担う
子どもたち
の心を育む

～心のバリアフリーを目指して～

本校では交流及び共同学習の一環として、居住地校交流や学校間交流を積極的に行っています。交流活動の事前・事後学習として障害理解学習を取り入れることで、障害に対する具体的な学びや、児童生徒の発達段階に応じた自己理解・相互理解を促し、効果的な交流活動につながっています。

障害理解学習とは

障害についての正しい知識、障害のある児童生徒への適切な接し方や協力の仕方などについての内容を取り上げています。様々な体験活動を通して障害への理解を深めます。また、障害の有無に関わらず、お互いの人格と個性の尊重を目指した多様性の理解を深める障害理解学習についてもご要望に応じて実施しています。

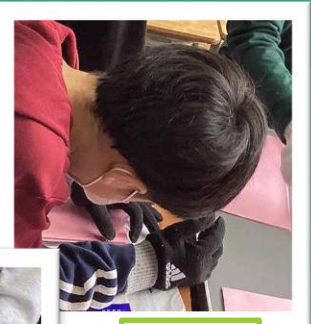
学習の様子



障害をテーマとした
絵本の読み聞かせ



交流する友達に
ついて知ろう



不器用さ
の体験



多様性の大切さに気
づくグループワーク



※御相談の上、それぞれの学校のニーズに応じた内容の授業をお手伝いします。

振り返り・感想から

交流で会えるのが楽しみです。〇〇さんの得意なことを見つけて、なかよくしたい。(小学校3年児童)

「軍手で体験」がなかなか思うようにできなくて大変だった。急がせたり焦らせたりしないようにやさしく話かけたい。(小学校4年児童)

体験活動を通して困難さを抱える方の変なところがよく分かった。「相手の立場を考えること」が理解できたようだ。(小学校学級担任)

グループで話し合う活動がよかった。互いに様々な見方、考え方に触れることができ、障害についての考えも深まった。(中学校担当者)

秋田県立ゆり支援学校 地域支援部

〒015-0885 秋田県由利本荘市水林456-3

tel:0184-27-2630 fax:0184-22-8706

問い合わせ先

教頭 高橋基裕

地域支援部

佐々木弘美